

平成 22 年度

総務省 政策別コスト情報

政策別コスト情報について

政策別コスト情報は、「政策別コスト情報の把握と開示について」（平成22年7月20日財政制度等審議会 財政制度分科会 法制・公会計部会）に基づいて作成しており、省庁別財務書類における業務費用計算書を政策評価単位毎に表示したものです。

各政策にかかるコストの把握にあたっては、各省庁単位で区分された一般会計に所管の特別会計を合算しており、共通経費等について仮定の配賦基準により配分を行い集計するなど、一定の方法により算出されております。また、各政策にかかるストックとして表示されている資産（負債）についても、仮に各省庁の資産（負債）が個々の政策に帰属すると整理したものを表示しており、計上額についても一定の仮定に基づいて算出されたものである点にご留意下さい。

政策別コスト情報を十分理解していただくため、「政策別コスト情報の把握と開示について」及び政策評価の内容等も併せてご覧下さい。

〔留意事項〕

- ・各調書における「Ⅲ．事業コスト（その他事業コスト含む）」に表示されている人件費等（括弧書き表示）については、「Ⅰ．人にかかるコスト」に集計されております。
- ・百万円未満切り捨てのため、合計額が一致しないことがあります。
- ・百万円未満の計数がある場合には「0」で表示し、該当計数が皆無の場合には「－」で表示しています。

総務省： 総括表

(所管：総務省)

1. 政策にかかるコスト

(単位:百万円)

区 分	コスト計 (A)=(a)+(b)+(c)		内 訳									(参考) 自己収入
			Ⅰ 人にかかるコスト (a)			Ⅱ 物にかかるコスト (庁舎等を含む) (b)			Ⅲ 事業コスト (その他事業コストを含む) (c)			
					(a)/(A)			(b)/(A)			(c)/(A)	
1.行政改革・行政運営	25,856	0.1%	19,267	32.9%	74.5%	5,773	20.9%	22.3%	815	0.0%	3.2%	—
2.地方行財政	20,879,253	97.0%	3,033	5.2%	0.0%	2,050	7.4%	0.0%	20,874,170	97.3%	100.0%	—
3.選挙制度等	52,132	0.2%	438	0.8%	0.8%	262	1.0%	0.5%	51,430	0.2%	98.7%	—
4.電子政府・電子自治体	9,711	0.1%	329	0.6%	3.4%	1,155	4.2%	11.9%	8,226	0.0%	84.7%	—
5.情報通信 (ICT政策)	301,321	1.4%	17,000	29.0%	5.6%	8,009	29.0%	2.7%	276,311	1.3%	91.7%	67,699
6.郵政行政	1,568	0.0%	775	1.3%	49.5%	468	1.7%	29.9%	323	0.0%	20.7%	—
7.国民生活と安心・安全	182,582	0.9%	9,195	15.7%	5.0%	7,361	26.6%	4.0%	166,025	0.8%	90.9%	—
8.公害等調整委員会の任務の遂行	538	0.0%	436	0.8%	81.2%	45	0.2%	8.4%	55	0.0%	10.4%	—
官房経費等	76,765	0.4%	8,094	13.8%	10.5%	2,517	9.1%	3.3%	66,153	0.3%	86.2%	—
合 計	21,529,730	100.0%	58,572	100.0%	0.3%	27,644	100.0%	0.1%	21,443,513	100.0%	99.6%	67,699

※「Ⅲ事業コスト(その他事業コストを含む)」欄中、「2.地方行財政」欄の金額は、一般会計から交付税及び譲与税配付金特別会計への繰入額 17,138,292 百万円相殺後の額

2. 参考情報

各政策に配分した官房経費等の額

(単位:百万円)

内 訳											
区 分	コスト計 (A)=(a)+(b)+(c)		Ⅰ 人にかかるコスト (a)			Ⅱ 物にかかるコスト (庁舎等を含む) (b)			Ⅲ 事業コスト (その他事業コストを含む) (c)		
					(a)/(A)			(b)/(A)			(c)/(A)
1.行政改革・行政運営	2,700	3.5%	2,104	26.0%	77.9%	595	23.7%	22.1%	—	—	—
2.地方行財政	467	0.6%	272	3.4%	58.3%	195	7.8%	41.8%	—	—	—
3.選挙制度等	62	0.1%	38	0.5%	62.3%	23	0.9%	37.7%	—	—	—
4.電子政府・電子自治体	45	0.1%	28	0.4%	62.3%	17	0.7%	37.7%	—	—	—
5.情報通信（ICT政策）	5,087	6.6%	4,261	52.7%	83.8%	825	32.8%	16.2%	—	—	—
6.郵政行政	111	0.2%	69	0.9%	62.3%	42	1.7%	37.7%	—	—	—
7.国民生活と安心・安全	1,222	1.6%	725	9.0%	59.3%	497	19.8%	40.7%	—	—	—
8.公害等調整委員会の任務の遂行	85	0.1%	77	1.0%	90.6%	8	0.3%	9.4%	—	—	—
その他	66,983	87.3%	517	6.4%	0.8%	312	12.4%	0.5%	66,153	100.0%	98.8%
合 計	76,765	100.0%	8,094	100.0%	10.5%	2,517	100.0%	3.3%	66,153	100.0%	86.2%

総務省：総括表参考

本省															(単位:百万円)	
	大臣官房	人事・恩給局	行政管理局	行政評価局	自治行政局	自治財政局	自治税務局	情報通信 国際戦略局	情報流通行政局	総合通信基盤局	統計局	政策統括官	統計研修所	合計		
I 人にかかるコスト	3,068	2,703	1,086	2,304	1,941	976	666	2,058	2,534	3,435	4,370	543	477	26,167		
II ①物にかかるコスト	1,550	1,359	1,163	1,150	1,283	693	333	1,759	1,884	2,935	2,228	277	243	16,862		
②庁舎等	342	298	121	257	215	109	74	210	266	351	479	59	52	2,839		
III 事業コスト	1.行政改革・行政運営	—	140	79	62	—	—	—	—	—	—	—	—	282		
	2.地方行財政	—	—	—	—	1,144,163	17,660,784	2,069,221	—	—	—	—	—	20,874,170		
	3.選挙制度等	—	—	—	—	51,430	—	—	—	—	—	—	—	51,430		
	4.電子政府・電子自治体	—	—	5,406	—	2,820	—	—	—	—	—	—	—	8,226		
	5.情報通信 (ICT政策)	—	—	—	—	—	—	55,452	147,186	71,932	—	—	—	274,571		
	6.郵政行政	—	—	—	—	—	—	—	323	—	—	—	—	323		
	7.国民生活と安心・安全	892	47,829	—	—	—	—	—	—	—	72,708	9,048	7,937	138,417		
その他		66,153	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66,153		
コスト計 (I + II + III)		72,007	52,332	7,857	3,774	1,201,855	17,662,564	2,070,296	59,480	152,196	78,654	79,786	9,929	8,710	21,459,445	

地方局・外局等						(単位:百万円)	
	管区行政評価局	総合通信局	公害等調整委員会	消防庁	計		
I 人にかかるコスト	16,735	13,415	513	1,740	32,405		
II ①物にかかるコスト	3,538	1,337	53	2,289	7,218		
②庁舎等	13	198	—	511	723		
III 事業コスト	1.行政改革・行政運営	533	—	—	533		
	5.情報通信 (ICT政策)	—	1,739	—	1,739		
	7.国民生活と安心・安全	—	—	27,608	27,608		
	8.公害等調整委員会の任務の遂行	—	—	55	55		
コスト計 (I + II + III)		20,821	16,690	623	32,149	70,284	

政策：行政改革・行政運営にかかるコストの状況

(所管:総務省、(組織)総務本省、担当部局:人事・恩給局、行政管理局、行政評価局)
(組織)管区行政評価局、担当部局:管区行政評価局

1. 政策にかかるコスト 25,856 百万円

区 分		経 費													(参考)決算額	
		人件費	賞与引当金繰入額	退職給付引当金繰入額	恩給費	恩給引当金繰入額	補助金等	委託費等	独立行政法人運営費交付金	政党助成金	交付税及び譲与税配付金特別会計への繰入	庁費等	その他の経費	減価償却費	貸倒引当金繰入額	資産処分損益
I	人にかかるコスト	19,267	17,520	708	1,037	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
II	①物にかかるコスト	5,285	—	—	—	—	—	2	—	—	—	3,106	733	1,442	—	0
	②庁舎等	488	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	488	—	—
III	事業コスト	815	—	—	—	—	—	—	—	—	—	375	440	—	—	858
	(1)国家公務員の人事管理の推進	140	—	—	—	—	—	—	—	—	—	88	51	—	—	155
	(2)適正な行政管理の実施	131	—	—	—	—	—	—	—	—	—	126	4	—	—	144
	(3)行政評価等による行政制度・運営の改善	543	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160	383	—	—	558
コスト計(I+II+III)		25,856	17,520	708	1,037	—	—	2	—	—	—	3,481	1,173	1,931	—	0
(参考)自己収入		—														

2. 政策にかかるストック情報

区 分		ストック内訳							(単位:百万円)	
		主な資産等	無形固定資産	物品	土地	立木竹	建物	工作物	備 考	
(1)	国家公務員の人事管理の推進	—	—	—	—	—	—	—		
(2)	適正な行政管理の実施	—	—	—	—	—	—	—		
(3)	行政評価等による行政制度・運営の改善	29	29	—	—	—	—	—		
(4)	物にかかるコスト	5,471	—	5,471	—	—	—	—		
(5)	庁舎等	23,277	—	—	16,184	15	5,601	1,475		
合 計		28,778	29	5,471	16,184	15	5,601	1,475		

※無形固定資産、物品、土地、立木竹、建物及び工作物については、定員による配分を行っている。

3. 参考情報

(1) 当該政策に関連するコストの状況 (単位:百万円)

① 当該政策に配分された官房経費等の額	
I 人にかかるコスト	2,104
II 物にかかるコスト(庁舎等含む。)	595
III その他事業コスト	—
合 計	2,700

② 当該政策に配分された当年度の公債にかかる利払費 7,645 百万円
・省庁別財務書類の公債関連情報として記載されている利払費が、一般会計における政策ごとの「政策にかかるコスト」と「当該政策に配分された官房経費等」を合算したコストを基準として当該政策に配分された場合の額である。

(2) 政策の概要

- ①国家公務員の人事管理の推進
国民の信頼を確保しつつ、質の高い行政サービスを実現していくため、公務員が能力を発揮できる環境を整備する。そのために、国家公務員制度改革を推進すると共に、人事に関する制度を適切に運営し、的確な人事管理を推進する。
- ②適正な行政管理の実施
国の行政組織等の減量・効率化を図るとともに、行政手続制度・行政不服審査制度・国の行政機関等の情報公開・個人情報保護制度の適正かつ円滑な運用を図る。
- ③行政評価等による行政制度・運営の改善
政策評価の推進、行政評価・監視の実施、行政相談の推進及び年金記録に関するあっせん等の実施により、各府省における行政制度・運営の改善を図る。

(3) 共通経費配分の方法

- ①人にかかるコスト
各政策ごとに定員による配分を行っている。
- ②物にかかるコスト
各政策ごとに定員による配分を行っている。
- ③その他
本省に一括して計上されている一部の人件費については、定員数により地方局・外局へ配分を行っている。

総務省：行政改革・行政運営にかかるコストの状況
 (所管：総務省、組織：総務本省、管区行政評価局、一般会計)

会計別・部局別等の経費の詳細		一般会計				(単位：百万円)	
		人事・恩給局	行政管理局	行政評価局	管区行政評価局	相殺消去	合計
I	人にかかるコスト	1,081	869	2,304	15,011	—	19,267
II	①物にかかるコスト	532	428	1,150	3,174	—	5,285
	②庁舎等	120	97	257	12	—	488
III	事業コスト	140	79	62	533	—	815
	1. 国家公務員の人事管理の推進	140	—	—	—	—	140
	2. 適正な行政管理の実施	—	79	—	52	—	131
	3. 行政評価等による行政制度・運営の改善	—	—	62	481	—	543
コスト計(I＋II＋III)		1,875	1,475	3,774	18,731	—	25,856

政策： 地方行財政にかかるコストの状況

(所管：総務省、(組織)総務本省、担当部局：自治行政局、自治財政局、自治税務局)

1. 政策にかかるコスト 20,879,253 百万円

区 分		費																			(単位:百万円)
		人件費	賃与引当金繰入額	退職給付引当金繰入額	恩給費	恩給引当金繰入額	補助金等	委託費等	独立行政法人運営費交付金	政党助成金	交付税及び譲与税配付金特別会計への繰入	庁費等	その他の経費	減価償却費	賃借引当金繰入額	資産処分損益	地方交付税交付金	地方特例交付金	地方譲与税譲与金	支払利息	(参考)決算額
I	人にかかるコスト	3,033	2,576	176	280	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
II	(1)物にかかるコスト	1,711	—	—	—	—	—	196	—	—	—	426	77	1,011	—	0	—	—	—	—	—
	(2)庁舎等	339	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	339	—	—	—	—	—	—	—
III	事業コスト	20,874,170	—	—	—	—	—	1,140,942	3,490	—	—	311	60	—	—	—	17,193,551	383,165	2,069,189	83,460	73,284,343
	(1)分権型社会にふさわしい地方行政体制整備等	5,856	—	—	—	—	—	5,602	210	—	—	23	20	—	—	—	—	—	—	—	5,860
	(2)地域振興	1,138,880	—	—	—	—	—	1,135,339	3,280	—	—	236	22	—	—	—	—	—	—	—	1,138,920
	(3)地方財源の確保と地方財政の健全化	17,660,211	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24	10	—	—	—	17,193,551	383,165	—	83,460	70,070,336
	(4)分権型社会を担う地方税制度の構築	2,069,221	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	6	—	—	—	—	—	2,069,189	—	2,069,226
コスト計(Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ)		20,879,253	2,576	176	280	—	—	1,140,942	3,686	—	—	737	137	1,350	—	0	17,193,551	383,165	2,069,189	83,460	—

〔参考〕自己収入 —
※説明を要する経費の概要:地方交付税交付金は地方交付税法(昭和25年法律第211号)等に基づき、地方団体間の財源の均衡化を図り、地方行政の計画的な運営を保障するため、国税5税の一定割合等を原資として、地方公共団体へ交付するものである。

2. 政策にかかるストック情報

区 分	主な資産等	ストック内訳								備 考
		無形固定資産	物品	土地	立木竹	建物	工作物	未払費用	借入金	
(1)分権型社会にふさわしい地方行政体制整備等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)地域振興	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(3)地方財源の確保と地方財政の健全化	△ 33,623,974	—	—	—	—	—	—	△ 6,678	△ 33,617,295	—
(4)分権型社会を担う地方税制度の構築	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(5)物にかかるコスト	3,889	—	3,889	—	—	—	—	—	—	—
(6)庁舎等	15,922	—	—	10,948	11	3,932	1,029	—	—	—
合 計	△ 33,604,161	—	3,889	10,948	11	3,932	1,029	△ 6,678	△ 33,617,295	—

※無形固定資産、物品、土地、立木竹、建物及び工作物については、定員による配分を行っている。

3. 参考情報

- (1) 当該政策に関連するコストの状況
- | | |
|---------------------|----------|
| ① 当該政策に配分された官房経費等の額 | (単位:百万円) |
| I 人にかかるコスト | 272 |
| II 物にかかるコスト(庁舎等含む。) | 195 |
| III その他事業コスト | — |
| 合 計 | 467 |
- ② 当該政策に配分された当年度の公債にかかる利払費 307,916 百万円
・省庁別財務書類の公債関連情報として記載されている利払費が、一般会計における政策ごとの「政策にかかるコスト」と「当該政策に配分された官房経費等」を合算したコストを基準として当該政策に配分された場合の額である。
- (2) 政策の概要
- ①分権型社会にふさわしい地方行政体制整備等
分権型社会に対応した地方制度・地方行政体制の整備等を推進する。
- ②地域振興
地域の特性にあった魅力ある地域づくりを行う地方公共団体を支援する。
- ③地方財源の確保と地方財政の健全化
地方公共団体の財政運営に支障が生じないように所要の地方財源の確保を図るとともに地方交付税の算定方法の簡素化等の見直しを進める。また、地方公共団体の財政収支を改善し、地方財政の健全化を図る。
- ④分権型社会を担う地方税制度の構築
分権型社会を担う地方税制度の構築のために、社会経済情勢等を踏まえた税制改正を実施する。
- (3) 共通経費配分の方法
- ①人にかかるコスト
各政策ごとに定員による配分を行っている。
- ②物にかかるコスト
各政策ごとに定員による配分を行っている。なお、特別会計については執行額により配分。
- ③その他
本省に一括して計上されている一部の人件費については、定員数により地方局・外局へ配分を行っている。

総務省：
 地方行財政にかかるコストの状況

(所管:総務省、組織:総務本省、一般会計、交付税及び譲与税配付金特別会計)

会計別・部局別等の経費の詳細
 (単位:百万円)

区 分	一般会計			交付税及び譲与税配付金特別会計		相殺消去	合計
	自治行政局	自治財政局	自治税務局	自治財政局	自治税務局		
I 人にかかるコスト	1,389	976	666	—	—	—	3,033
II ①物にかかるコスト	684	480	328	213	4	—	1,711
②庁舎等	155	109	74	—	—	—	339
III 事業コスト	1,144,163	17,138,900	32	17,660,176	2,069,189	△ 17,138,292	20,874,170
1. 分権型社会にふさわしい地方行政体制整備等	5,283	572	—	—	—	—	5,856
2. 地域振興	1,138,880	—	—	—	—	—	1,138,880
3. 地方財源の確保と地方財政の健全化	—	17,138,327	—	17,660,176	—	△ 17,138,292	17,660,211
4. 分権型社会を担う地方税制度の構築	—	—	32	—	2,069,189	—	2,069,221
コスト計(Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ)	1,146,393	17,140,466	1,102	17,660,389	2,069,194	△ 17,138,292	20,879,253

政策：選挙制度等にかかるコストの状況

(所管:総務省、(組織)総務本省、担当部局:自治行政局)

1. 政策にかかるコスト 52,132 百万円

区 分		経 費														(参考) 決算額
		人件費	賞与引当金繰入額	退職給付引当金繰入額	恩給費	恩給引当金繰入額	補助金等	委託費等	独立行政法人運営費交付金	政党助成金	交付税及び譲与税配付金特別会計への繰入	庁費等	その他の経費	減価償却費	貸倒引当金繰入額	
Ⅰ 人にかかるコスト		438	375	24	39	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Ⅱ ①物にかかるコスト		215	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—	56	10	148	0
②庁舎等		47	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	47	—
Ⅲ 事業コスト		51,430	(15)	—	—	—	—	—	47,588	—	—	—	3,838	3	—	—
(1)選挙制度等の適切な運用		51,430	(15)	—	—	—	—	—	47,588	—	—	—	3,838	3	—	—
コスト計(Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ)		52,132	375	24	39	—	—	—	47,588	—	—	—	3,895	14	195	0
(参考) 自己収入		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

2. 政策にかかるストック情報

区 分		ストック内訳						備 考
		主な資産等	無形固定資産	物品	土地	立木竹	建物	工作物
(1)選挙制度等の適切な運用	7	7	—	—	—	—	—	—
(2)物にかかるコスト	542	—	—	542	—	—	—	—
(3)庁舎等	2,221	—	—	—	1,527	1	548	143
合 計	2,771	7	—	542	1,527	1	548	143

※無形固定資産、物品、土地、立木竹、建物及び工作物については、定員による配分を行っている。

3. 参考情報

(1) 当該政策に関連するコストの状況

① 当該政策に配分された官房経費等の額	(単位:百万円)
I 人にかかるコスト	38
II 物にかかるコスト(庁舎等含む。)	23
III その他事業コスト	—
合 計	62

② 当該政策に配分された当年度の公債にかかる利払費 13,974 百万円
・省庁別財務書類の公債関連情報として記載されている利払費が、一般会計における政策ごとの「政策にかかるコスト」と「当該政策に配分された官房経費等」を合算したコストを基準として当該政策に配分された場合の額である。

(2) 政策の概要

①選挙制度等の適切な運用
選挙制度、政治資金制度及び政党助成制度等を適切に運用し、民主政治の健全な発達に寄与す。

(3) 共通経費配分の方法

①人にかかるコスト
各政策ごとに定員による配分を行っている。
②物にかかるコスト
各政策ごとに定員による配分を行っている。
③その他
本省に一括して計上されている一部の人件費については、定員数により地方局・外局へ配分を行っている。

総務省：選挙制度等にかかるコストの状況
 （所管：総務省、組織：総務本省、一般会計）

会計別・部局別等の経費の詳細		(単位:百万円)					
区 分		一般会計				相殺消去	合計
		自治行政局					
I 人にかかるコスト		438	—	—	—	—	438
II ①物にかかるコスト		215	—	—	—	—	215
②庁舎等		47	—	—	—	—	47
III 事業コスト		51,430	—	—	—	—	51,430
	1. 選挙制度等の適切な運用	51,430	—	—	—	—	51,430
コスト計(I + II + III)		52,132	—	—	—	—	52,132

政策：電子政府・電子自治体にかかるコストの状況

(所管：総務省、(組織)総務本省、担当部局：行政管理局、自治行政局)

1. 政策にかかるコスト 9,711 百万円

(単位:百万円)

区 分	経 費															(参考)決算額
	人件費	賞与引当金繰入額	退職給付引当金繰入額	恩給費	恩給引当金繰入額	補助金等	委託費等	独立行政法人運営費交付金	政党助成金	交付税及び譲与税配付金特別会計への繰入	庁費等	その他の経費	減価償却費	貸倒引当金繰入額	資産処分損益	
I 人にかかるコスト	329	279	19	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
II ①物にかかるコスト	1,119	—	—	—	—	—	0	—	—	—	44	7	1,066	—	0	—
②庁舎等	36	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36	—	—
III 事業コスト	8,226	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8,213	12	—	—	—	10,208
(1)電子政府・電子自治体の推進	8,226	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8,213	12	—	—	—	10,208
コスト計(I+II+III)	9,711	279	19	30	—	—	0	—	—	—	8,257	20	1,103	—	0	—
(参考)自己収入	—															

2. 政策にかかるストック情報

区 分	主な資産等	ストック内訳						備 考
		無形固定資産	物品	土地	立木竹	建物	工作物	
(1)電子政府・電子自治体の推進	1,561	1,561	—	—	—	—	—	
(2)物にかかるコスト	422	—	422	—	—	—	—	
(3)庁舎等	1,728	—	—	1,188	1	426	111	
合 計	3,711	1,561	422	1,188	1	426	111	

※無形固定資産、物品、土地、立木竹、建物及び工作物については、定員による配分を行っている。

3. 参考情報

(1) 当該政策に関連するコストの状況

① 当該政策に配分された官房経費等の額	(単位:百万円)
I 人にかかるコスト	28
II 物にかかるコスト(庁舎等含む。)	17
III その他事業コスト	—
合 計	45

② 当該政策に配分された当年度の公債にかかる利払費 2,612 百万円
・省庁別財務書類の公債関連情報として記載されている利払費が、一般会計における政策ごとの「政策にかかるコスト」と「当該政策に配分された官房経費等」を合算したコストを基準として当該政策に配分された場合の額である。

(2) 政策の概要

① 電子政府・電子自治体の推進
行政分野へのITの活用により、国民の利便性向上と行政運営の簡素化、効率化、高度化及び透明性の向上を図り、世界一便利で効率的な電子行政の実現を目指す。とともに、簡素で効率的な政府の実現を図る。

(3) 共通経費配分の方法

- ① 人にかかるコスト
各政策ごとに定員による配分を行っている。
- ② 物にかかるコスト
各政策ごとに定員による配分を行っている。
- ③ その他
本省に一括して計上されている一部の人件費については、定員数により地方局・外局へ配分を行っている。

(所管:総務省、組織:総務本省、一般会計)

(単位:百万円)

区 分		一般会計			相殺消去	合計
		行政管理局	自治行政局			
I	人にかかるコスト	216	112	—	—	329
II	①物にかかるコスト	735	383	—	—	1,119
	②庁舎等	24	12	—	—	36
III	事業コスト	5,406	2,820	—	—	8,226
	1. 電子政府・電子自治体の推進	5,406	2,820	—	—	8,226
コスト計(I + II + III)		6,381	3,329	—	—	9,711

政策：情報通信（ICT政策）にかかるコストの状況

（所管：総務省、（組織）総務本省、担当部局：情報通信国際戦略局、情報流通行政局、総合通信基盤局（組織）総合通信局、担当部局：総合通信局

1. 政策にかかるコスト

301,321 百万円

区 分		経 費													(参考) 決算額		
		人件費	賞与引当金繰入額	退職給付引当金繰入額	恩給費	恩給引当金繰入額	補助金等	委託費等	独立行政法人運営費交付金	政党助成金	交付税及び譲与税配付金特別会計への繰入	庁費等	その他の経費	減価償却費		貸倒引当金繰入額	資産処分損益
I 人にかかるコスト	17,000	14,712	1,010	1,277	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
II ①物にかかるコスト	7,122	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	1,127	245	5,739	—	6	—
②庁舎等	886	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	886	—	—	—
III 事業コスト	276,311	(3,559)	(272)	(245)	—	—	193,530	33,460	30,899	—	—	18,094	325	—	0	—	284,731
(1)情報通信技術の研究開発・標準化の推進	51,126	(1)	—	—	—	—	4,851	14,975	30,899	—	—	369	29	—	—	—	51,190
(2)情報通信技術高度利活用の推進	28,220	—	—	—	—	—	16,318	8,322	—	—	—	3,568	10	—	—	—	28,947
(3)ユビキタスネットワークの整備	130,386	—	—	—	—	—	129,875	—	—	—	—	484	26	—	—	—	130,469
(4)情報通信技術利用環境の整備	997	—	—	—	—	—	—	114	—	—	—	865	17	—	—	—	1,144
(5)電波利用料財源電波監視等の実施	61,254	(3,558)	(272)	(245)	—	—	42,483	7,988	—	—	—	10,577	204	—	0	—	68,273
(6)ICT分野における国際戦略の推進	4,325	—	—	—	—	—	—	2,059	—	—	—	2,228	37	—	—	—	4,705
コスト計（I＋II＋III）	301,321	14,712	1,010	1,277	—	—	193,530	33,463	30,899	—	—	19,222	571	6,626	0	6	—

(参考) 自己収入 67,699

※ 当該政策に係る自己収入については、一般会計の電波利用料収入67,699百万円。

2. 政策にかかるストック情報

(単位:百万円)

区 分	主な資産等	ストック内訳							備 考
		無形固定資産	物品	土地	立木竹	建物	工作物	貸倒引当金	
(1)情報通信技術の研究開発・標準化の推進	2	2	—	—	—	—	—	—	—
(2)情報通信技術高度利活用の推進	520	520	—	—	—	—	—	—	—
(3)ユビキタスネットワークの整備	14	14	—	—	—	—	—	—	—
(4)情報通信技術利用環境の整備	6	6	—	—	—	—	—	—	—
(5)電波利用料財源電波監視等の実施	6,461	6,505	—	—	—	—	—	△ 43	—
(6)ICT分野における国際戦略の推進	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(7)物にかかるコスト	8,828	—	8,828	—	—	—	—	—	—
(8)庁舎等	40,781	—	—	28,175	28	9,804	2,772	—	—
合 計	56,612	7,047	8,828	28,175	28	9,804	2,772	△ 43	—

※無形固定資産、物品、土地、立木竹、建物及び工作物については、定員による配分を行っている。

3. 参考情報

(1) 当該政策に関連するコストの状況

① 当該政策に配分された官房経費等の額	(単位:百万円)
I 人にかかるコスト	4,261
II 物にかかるコスト(庁舎等含む。)	825
III その他事業コスト	—
合 計	5,087

② 当該政策に配分された当年度の公債にかかる利払費 63,909 百万円
・省庁別財務書類の公債関連情報として記載されている利払費が、一般会計における政策ごとの「政策にかかるコスト」と「当該政策に配分された官房経費等」を合算したコストを基準として当該政策に配分された場合の額である。

(2) 政策の概要

- ①情報通信技術の研究開発・標準化の推進
ユビキタスネット社会の実現に向け、情報通信技術の研究開発および標準化を推進する。
- ②情報通信技術高度利活用の推進
社会・経済のICT化の推進及び安心・安全な利用環境の整備等によるICT利活用の促進に図り、ユビキタスネット社会を実現する。
- ③ユビキタスネットワークの整備
2011年7月を目標として、「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」使えるデジタル・ディバイドのないインフラを実現することで、ユビキタス化を推進する。
- ④情報通信技術利用環境の整備
電気通信事業の健全な発達及び低廉なサービスの提供の実現を推進するほか、ネットワークセキュリティの高度化等を推進する。
- ⑤電波利用料財源電波監視等の実施
電波の適正な利用を確保することを目的に、電波利用料収入を財源とした各種施策・事務事業の確実な実施を推進する。
- ⑥ICT分野における国際戦略の推進
二国間・多国間等の枠組みによる国際的な課題を解決するための協調及び貢献、ICT分野の国際競争力強化に向けた海外展開支援の推進を通じて、グローバルな高度情報通信ネットワーク社会実現への貢献を目標とする。

(3) 共通経費配分の方法

- ①人にかかるコスト
各政策ごとに定員による配分を行っている。
- ②物にかかるコスト
各政策ごとに定員による配分を行っている。
- ③その他
本省に一括して計上されている一部の人件費については、定員数により地方局・外局へ配分を行っている。

総務省： 情報通信(ICT政策)にかかるコストの状況
(所管：総務省、組織：総務本省、総合通信局、一般会計)

会計別・部局別等の経費の詳細		一般会計						相殺消去	合計
区 分		情報通信国際戦略局	情報流通行政局	総合通信基盤局	総合通信局				
I	人にかかるコスト	2,058	1,758	3,435	9,749	—	—	—	17,000
II	①物にかかるコスト	1,759	1,502	2,935	924	—	—	—	7,122
	②庁舎等	210	179	351	144	—	—	—	886
III	事業コスト	55,452	147,186	71,932	1,739	—	—	—	276,311
	1. 情報通信技術の研究開発・標準化の推進	51,126	—	—	—	—	—	—	51,126
	2. 情報通信技術高度利用の推進	—	16,797	11,422	—	—	—	—	28,220
	3. ユビキタスネットワークの整備	—	130,333	—	53	—	—	—	130,386
	4. 情報通信技術利用環境の整備	—	54	933	8	—	—	—	997
	5. 電波利用料財源電波監視等の実施	—	—	59,576	1,678	—	—	—	61,254
	6. ICT分野における国際戦略の推進	4,325	—	—	—	—	—	—	4,325
コスト計(I + II + III)		59,480	150,627	78,654	12,558	—	—	—	301,321

政策：郵政行政にかかるコストの状況

(所管:総務省、(組織)総務本省、担当部局:情報流通行政局)

1. 政策にかかるコスト 1,568 百万円

区 分	経 費															(参考)決算額
	人件費	賞与引当金 繰入額	退職給付引 当金繰入額	恩給費	恩給引当金 繰入額	補助金等	委託費等	独立行政法人 運営費交付金	政党助成金	交付税及び譲与 税配付金特別 会計への繰入	庁費等	その他の経費	減価償却費	貸倒引当金 繰入額	資産処分損益	
I 人にかかるコスト	775	659	45	71	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
II ①物にかかるコスト	381	—	—	—	—	—	0	—	—	—	104	18	258	—	0	—
②庁舎等	86	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	86	—	—	—
III 事業コスト	323	—	—	—	—	—	219	—	—	—	90	13	—	—	—	339
(1)郵政行政の推進	323	—	—	—	—	—	219	—	—	—	90	13	—	—	—	339
コスト計(I+II+III)	1,568	659	45	71	—	—	220	—	—	—	194	32	345	—	0	—
(参考)自己収入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

2. 政策にかかるストック情報

区 分	主な資産等	ストック内訳						備 考
		無形固定資産	物品	土地	立木竹	建物	工作物	
(1)郵政行政の推進	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)物にかかるコスト	995	—	995	—	—	—	—	—
(3)庁舎等	4,073	—	—	2,800	2	1,006	263	—
合 計	5,068	—	995	2,800	2	1,006	263	—

※無形固定資産、物品、土地、立木竹、建物及び工作物については、定員による配分を行っている。

3. 参考情報

- (1) 当該政策に関連するコストの状況

① 当該政策に配分された官房経費等の額 (単位:百万円)

I 人にかかるコスト	69
II 物にかかるコスト(庁舎等含む。)	42
III その他事業コスト	—
合 計	111

② 当該政策に配分された当年度の公債にかかる利払費 449 百万円

・省庁別財務書類の公債関連情報として記載されている利払費が、一般会計における政策ごとの「政策にかかるコスト」と「当該政策に配分された官房経費等」を合算したコストを基準として当該政策に配分された場合の額である。
- (2) 政策の概要
- ① 郵政行政の推進

郵政民営化の確実かつ円滑な実施を図るとともに、郵便・信書便分野における事業環境の整備を通じ、サービスの一層の多様化等の実現を目指す。

また、国際分野においては、利用者利便の向上を図る観点から、多国間、二国間協議・協調等を通じ、新たな制度環境整備への取組み等、積極的な対応を推進する。
- (3) 共通経費配分の方法
- ① 人にかかるコスト

各政策ごとに定員による配分を行っている。

② 物にかかるコスト

各政策ごとに定員による配分を行っている。

③ その他

本省に一括して計上されている一部の人件費については、定員数により地方局・外局へ配分を行っている。

総務省：
 郵政行政にかかるコストの状況
 (所管：総務省、組織：総務本省、一般会計)

会計別・部局別等の経費の詳細						(単位：百万円)	
		一般会計				相殺消去	合計
		情報流通行政局					
I	人にかかるコスト	775	—	—	—	—	775
II	①物にかかるコスト	381	—	—	—	—	381
	②庁舎等	86	—	—	—	—	86
III	事業コスト	323	—	—	—	—	323
	1. 郵政行政の推進	323	—	—	—	—	323
コスト計(I + II + III)		1,568	—	—	—	—	1,568

政策：国民生活と安心・安全にかかるコストの状況

(所管：総務省、(組織)総務本省、担当部局：大臣官房総務課、人事・恩給局、統計局、政策統括官、統計研修所、(組織)消防庁、担当部局：消防庁)

1. 政策にかかるコスト 182,582 百万円

区 分		経 費															(参考) 決算額
		人件費	賞与引当金繰入額	退職給付引当金繰入額	恩給費	恩給引当金繰入額	補助金等	委託費等	独立行政法人運営費交付金	政党助成金	交付税及び譲与税配付金特別会計への繰入	庁費等	その他の経費	減価償却費	貸倒引当金繰入額	資産処分損益	
I 人にかかるコスト	9,195	8,008	436	751	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
II ①物にかかるコスト	6,041	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	964	364	4,705	—	—	3
②庁舎等	1,319	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,319	—	—	—
III 事業コスト	166,025	(1,609)	(13)	(112)	257	47,092	22,627	71,807	10,138	—	—	13,891	170	—	40	—	801,816
①一般戦災死没者追悼等の事業の推進	892	—	—	—	—	—	242	271	354	—	—	15	7	—	—	—	894
②恩給行政の推進	47,829	(1,609)	(13)	(112)	257	47,092	—	—	—	—	—	425	14	—	40	—	675,411
③公的統計の体系的な整備・提供	89,694	—	—	—	—	—	—	71,285	9,783	—	—	8,557	67	—	—	—	91,224
④消防防災体制の充実強化	27,608	—	—	—	—	—	22,384	249	—	—	—	4,893	81	—	—	—	34,286
コスト計 (I + II + III)	182,582	8,008	436	751	257	47,092	22,627	71,810	10,138	—	—	14,856	535	6,024	40	3	—

(参考)自己収入 —

2. 政策にかかるストック情報

(単位:百万円)										
区 分	主な資産等	ストック内訳								備 考
		無形固定資産	物品	土地	立木竹	建物	工作物	航空機	貸倒引当金	
(1)一般戦災死没者追悼等の事業の推進	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)恩給行政の推進	543	652	—	—	—	—	—	—	△ 108	—
(3)公的統計の体系的な整備・提供	518	518	—	—	—	—	—	—	—	—
(4)消防防災体制の充実強化	368	368	—	—	—	—	—	—	—	—
(5)物にかかるコスト	23,412	—	23,412	—	—	—	—	—	—	—
(6)庁舎等	53,361	—	—	34,744	33	14,228	4,210	145	—	—
合 計	78,203	1,538	23,412	34,744	33	14,228	4,210	145	△ 108	—

※無形固定資産、物品、土地、立木竹、建物、工作物及び航空機については、定員による配分を行っている。

3. 参考情報

(1) 当該政策に関連するコストの状況

① 当該政策に配分された官房経費等の額	(単位:百万円)
I 人にかかるコスト	725
II 物にかかるコスト(庁舎等含む。)	497
III その他事業コスト	—
合 計	1,222

② 当該政策に配分された当年度の公債にかかる利払費 49,210 百万円
・省庁別財務書類の公債関連情報として記載されている利払費が、一般会計における政策ごとの「政策にかかるコスト」と「当該政策に配分された官房経費等」を合算したコストを基準として当該政策に配分された場合の額である。

(2) 政策の概要

- ①一般戦災死没者追悼等の事業の推進
先の大戦における労苦等について国民の理解を深め後世に継承するため、追悼事業等の適正かつ円滑な推進を図る。
- ②恩給行政の推進
受給者の高齢化が進んでいることを踏まえ、より一層の受給者等に対するサービスの向上を図る。このため、特に平成22 年度までの間は、業務・システム最適化計画の着実な実施を図ることとする。
- ③公的統計の体系的な整備・提供
公的統計の体系的かつ効率的な整備・提供を推進する。特に、新統計法の成立を踏まえ、統計制度改革を着実に推進する。また、統計需要や調査環境の変化に応じた調査の改善について検討する。
- ④消防防災体制の充実強化
大規模地震・大規模災害に対する備えの強化や消防防災・危機管理体制の強化、火災予防対策や消防防災科学技術の向上、地域防災力の強化、救急救命の充実と高度化など、総合的な消防防災対策を積極的に展開することにより、自然災害や大事故・テロなどに揺るがない社会を構築し、国民の安心・安全を確保する。

(3) 共通経費配分の方法

- ①人にかかるコスト
各政策ごとに定員による配分を行っている。
- ②物にかかるコスト
各政策ごとに定員による配分を行っている。
- ③その他
本省に一括して計上されている一部の人件費については、定員数により地方局・外局へ配分を行っている。

総務省： 国民生活と安心・安全にかかるコストの状況
(所管：総務省、組織：総務本省、消防庁、一般会計)

会計別・部局別等の経費の詳細		一般会計						(単位：百万円)	
		大臣官房	人事・恩給局	統計局	政策統括官	統計研修所	消防庁	相殺消去	合計
Ⅰ 人にかかるコスト		505	1,622	4,370	543	477	1,675	—	9,195
Ⅱ ①物にかかるコスト		257	827	2,228	277	243	2,208	—	6,041
②庁舎等		55	177	479	59	52	494	—	1,319
Ⅲ 事業コスト		892	47,829	72,708	9,048	7,937	27,608	—	166,025
	1. 一般戦災死没者追悼等の事業の推進	892	—	—	—	—	—	—	892
	2. 恩給行政の推進	—	47,829	—	—	—	—	—	47,829
	3. 公的統計の体系的な整備・提供	—	—	72,708	9,048	7,937	—	—	89,694
	4. 消防防災体制の充実強化	—	—	—	—	—	27,608	—	27,608
コスト計(Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ)		1,711	50,457	79,786	9,929	8,710	31,986	—	182,582

政策：公害等調整委員会の任務の遂行にかかるコストの状況

(所管:総務省、(組織)公害等調整委員会、担当部局:公害等調整委員会)

1. 政策にかかるコスト 538 百万円

区 分		経 費															(参考)決算額
		人件費	賞与引当金繰入額	退職給付引当金繰入額	恩給費	恩給引当金繰入額	補助金等	委託費等	独立行政法人運営費交付金	政党助成金	交付税及び譲与税配付金特別会計への繰入	庁費等	その他の経費	減価償却費	貸倒引当金繰入額	資産処分損益	
Ⅰ 人にかかるコスト		436	387	26	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
Ⅱ ①物にかかるコスト		45	—	—	—	—	—	—	—	—	—	45	0	0	—	—	
②庁舎等		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
Ⅲ 事業コスト		55	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	42	—	—	55	
①公害紛争の処理		55	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	42	—	—	55	
②土地利用の調整		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
コスト計(Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ)		538	387	26	22	—	—	—	—	—	—	58	42	0	—	—	
(参考)自己収入		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

2. 政策にかかるストック情報

(単位:百万円)

区 分	主な資産等	無形固定資産		物品	備 考
		無形固定資産	物品		
(1)公害紛争の処理	1	1	—	—	—
(2)土地利用の調整	—	—	—	—	—
(3)物にかかるコスト	—	—	—	—	—
合 計	1	1	—	—	—

※無形固定資産及び物品については、定員による配分を行っている。

3. 参考情報

(1) 当該政策に関連するコストの状況

① 当該政策に配分された官房経費等の額 (単位:百万円)

Ⅰ 人にかかるコスト	77
Ⅱ 物にかかるコスト(庁舎等含む。)	8
Ⅲ その他事業コスト	—
合 計	85

② 当該政策に配分された当年度の公債にかかる利払費 166 百万円

・省庁別財務書類の公債関連情報として記載されている利払費が、一般会計における政策ごとの「政策にかかるコスト」と「当該政策に配分された官房経費等」を合算したコストを基準として当該政策に配分された場合の額である。

(2) 政策の概要

①公害紛争の処理

- ・公正かつ中立な立場から公害紛争事件の適切な処理を図る
- ・多様化・複雑化する公害紛争に対応した公害紛争処理制度の運用を行う
- ・国及び都道府県を通じた公害紛争処理制度全体の円滑な運営及び公害苦情の適切な処理の促進を図る

②土地利用の調整

- ・鉱業、採石業又は砂利採取業と一般公益又は他産業との調整を図る
- ・公正かつ中立な立場から土地利用に関する行政庁の適正な処分の確保を図る

(3) 共通経費配分の方法

①人にかかるコスト

- 各政策ごとに定員による配分を行っている。

②物にかかるコスト

- 各政策ごとに定員による配分を行っている。

③その他

- 本省に一括して計上されている一部の人件費については、定員数により地方局・外局へ配分を行っている。

総務省： 公害等調整委員会の任務の遂行にかかるコストの状況
 （所管：総務省、組織：公害等調整委員会、一般会計）

区 分		一般会計				相殺消去	合計
		公害等調整委員会					
I	人にかかるコスト	436	—	—	—	—	436
II	①物にかかるコスト	45	—	—	—	—	45
	②庁舎等	—	—	—	—	—	—
III	事業コスト	55	—	—	—	—	55
	1. 公害紛争の処理	55	—	—	—	—	55
	2. 土地利用の調整						
コスト計(I + II + III)		538	—	—	—	—	538

官房経費等の状況

(所管:総務省、(組織)総務本省、担当部局:大臣官房
(組織)管区行政評価局
(組織)総合通信局
(組織)公害等調整委員会
(組織)消防庁

1. 官房経費等の内容

76,765 百万円

(単位:百万円)

区 分		経 費															(参考) 決算額
		人件費	賞与引当金繰入額	退職給付引当金繰入額	恩給費	恩給引当金繰入額	補助金等	委託費等	独立行政法人運営費交付金	政党助成金	交付税及び譲与税配付金特別会計への繰入	庁費等	その他の経費	減価償却費	貸倒引当金繰入額	資産処分損益	
Ⅰ 人にかかるコスト		8,094	7,111	415	567	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
Ⅱ ①物にかかるコスト		2,158	—	—	—	—	—	1	—	—	—	835	194	1,124	—	2	
②庁舎等		358	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	358	—	—	
Ⅲ その他事業コスト		66,153	—	—	—	—	—	33,540	—	32,074	—	458	56	25	—	66,224	
(1)政党助成費		32,074	—	—	—	—	—	—	—	32,074	—	—	—	—	—	32,074	
(2)国有提供施設等所在市町村助成交付金		26,740	—	—	—	—	—	26,740	—	—	—	—	—	—	—	26,740	
(3)施設等所在市町村調整交付金		6,800	—	—	—	—	—	6,800	—	—	—	—	—	—	—	6,800	
(4)その他		539	—	—	—	—	—	—	—	—	458	56	25	—	—	610	
コスト計(Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ)		76,765	7,111	415	567	—	—	33,541	—	32,074	—	1,293	250	1,508	—	2	

2. スtock情報

(単位:百万円)

区 分	主な資産等	ストック内訳						備 考
		無形固定資産	物品	土地	立木竹	建物	工作物	
(1)人にかかるコスト	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)物にかかるコスト	3,979	34	3,945	—	—	—	—	—
(3)庁舎等	16,331	—	—	11,228	11	3,959	1,132	—
合 計	20,310	34	3,945	11,228	11	3,959	1,132	—

※無形固定資産、物品、土地、立木竹、建物及び工作物については、定員による配分を行っている。

3. 参考情報

(1) 当該政策に関連するコストの状況

① 各政策に配分された官房経費等の額

政策評価単位	I 人にかかるコスト	II 物にかかるコスト	III その他事業コスト	(単位:百万円) 合 計
1.行政改革・行政運営	2,104	595	—	2,700
2.地方行政	272	195	—	467
3.選挙制度等	38	23	—	62
4.電子政府・電子自治体	28	17	—	45
5.情報通信(ICT政策)	4,261	825	—	5,087
6.郵政行政	69	42	—	111
7.国民生活と安心・安全	725	497	—	1,222
8.公害等調整委員会の任務の遂行	77	8	—	85
その他	517	312	66,153	66,983
合 計	8,094	2,517	66,153	76,765

② 官房経費等に配分された当年度の公債にかかる利払費

17,933 百万円

省庁別財務書類の公債関連情報として記載している利払費が、一般会計における「官房経費等」から「各政策に配分された官房経費等」を除いたコストを基準として官房経費等に配分された場合の額である。

(2) 官房経費の概要

- ・総務省所管が所掌する一般事務処理経費
- ・政党助成費:「政党助成法」に基づき、法人である政党に対し交付する政党交付金等
- ・国有提供施設等所在市町村助成交付金:「国有提供施設等所在市町村助成交付金に関する法律」に基づき、国有提供施設等の所在する都及び市町村に対し交付する市町村助成交付金
- ・施設等所在市町村調整交付金:特定の防衛施設が所在することに伴い、税財政上、特別の影響を受ける施設等所在市町村に対し交付する調整交付金
- ・その他:自治大学校及び情報通信政策研究所にかかる経費

(3) 共通経費配分の方法

① 人にかかるコスト

定員による配分を行っている。

② 物にかかるコスト

定員による配分を行っている。

③ その他

本省に一括して計上されている一部の人件費については、定員数により地方局・外局へ配分を行っている。

総務省：官房経費等の状況

会計別・部局別等の経費の詳細							(単位:百万円)	
	一般会計					交付税及び譲与税配付 金特別会計	相殺消去	合計
	大臣官房	管区行政評価局	総合通信局	公害等調整委員会	消防庁	大臣官房		
I 人にかかるコスト	2,562	1,723	3,666	77	64	—	—	8,094
II ①物にかかるコスト	1,261	364	412	8	81	30	—	2,158
②庁舎等	286	1	53	—	17	—	—	358
III 事業コスト	66,153	—	—	—	—	—	—	66,153
(1)政党助成費	32,074	—	—	—	—	—	—	32,074
(2)国有提供施設等所在市町村助成交付金	26,740	—	—	—	—	—	—	26,740
(3)施設等所在市町村調整交付金	6,800	—	—	—	—	—	—	6,800
(4)その他 (自治大学校経費、情報通信政策研究所経費)	539	—	—	—	—	—	—	539
コスト計(I + II + III)	70,265	2,089	4,132	85	162	30	—	76,765